



西小だより

山形市立西小学校
令和6年9月4日
校長 小林 聡

【学校教育目標】未来への夢をもって、豊かに学び、しなやかでたくましい子どもの育成

元気に2学期がスタートしました。全職員で子どもの成長を支え、楽しい学校づくりに努力してまいります。2学期もご支援ご協力よろしくお願いたします。

楽しい「〇〇づくり」を後押しする

始業式では「2学期はぜひ『〇〇づくり』をがんばってみよう」という話をしました。

まずは「**自分づくり**」。「**なりたい自分**」を描いてそれに向かって努力する営みは、自立に向かう大事な一歩です。そして、「新しい自分との出会い」ほど楽しく、心躍ることはありません。

この夏はパリオリンピックが開催され、最後まで手に汗握る戦いに一喜一憂したり、感動的な場面では涙が出たりして、選手の活躍に胸躍る毎日でした。

金メダル最有力と言われた選手が初戦で負けた後、誰のせいにすることなく「自分が弱かった」と、敗戦という事実を受け止める心の強さ。審判のきわどい判定の後、敗北した選手が勝利した選手を讃え、「彼は何も悪くない。彼がいたから今の自分がある。彼とまた切磋琢磨したい」という他者へのリスペクト。「自分が旗手を任せてもらったことで、この競技がみんなに認められた嬉しさがある」個人を超えて、競技そのものや全ての競技者に思いを馳せる心と考えの広さ。

これらのように、記憶に残るシーンや選手の発した言葉から、様々なことを考える良い機会でもありました。

金メダルを目指した選手のように、子ども達も「100m走で1位になりたい」「漢字テストで100点とれるようになりたい」という目標を立てることでしょう。

さて、そんな子どもの姿を支える大人は、どんなことに気をつけていったらいいでしょうか。

私は、「**その過程を知ること**」がまず大事だと思います。「どんなことを」「どんなふうに」「どのくらい」努力しているのかを知ることです。そうでなければ、もし、目標が達成できなかった時、その人の背中を押し、勇気づける言葉が見つかりません。

さらに、目標の先にある「**目に見えない内面の成長に心を砕く**」ということが大事だと思います。「自分で決めたことを実行する責任感」なのか、「最後までやり抜こうとする粘り強さ」なのか、「苦手なことに果敢に挑戦する心」なのか、はたまた「単調なことにも楽しみや面白さを見つける創意工夫」なのか、その内面を知ろうということです。先ほどのオリンピック選手のように、「背を向けたくなるような事実をも正面から受け止める心」や「周りの人がいて自分のがんばりや成長があると思える心」かも知れません。

それらは「**学校づくり**」、「**学年・学級づくり**」にもつながると考えます。よりよい社会をつくるには、一人一人の成長が欠かせませんし、持ち味や考えの違う人たちがそれぞれの考えを出し合うからこそ、よりよいもの、新しいものを生み出すことができるからです。

未来を生きる子どもたち一人一人が、やがて幸せな社会を創る担い手として成長できる、そんな2学期にしていけるよう、私たち大人が責任をもって、楽しみながら後押ししていきましょう。

本校ホームページへ
こちらからどうぞ



<3年1組担任 伊藤理恵先生>

1学期途中から体調を崩され、復帰を目指して休みをいただいておりますが、この度、退職されることになりました。これまで大変お世話になりました。

◆山形市水泳記録会 12名の選手 泳ぎも応援も がんばりました!

☆男子50M自由形 A. H/K. Y/T. A/S. R

☆女子50M自由形 O. H/K. A/O. H/T. A
T. H/K. Y

☆女子50M平泳ぎ N. S/N. R

◆山形県学童水泳記録会出場 K. Y 女子50M自由形 記録 38秒02

自分のがんばることを堂々と発表

始業式で代表の4人が2学期のめあてを堂々と発表しました。自分で決めためあてに向かって精一杯がんばる姿が本当に楽しみです。



ぼくは こくごのかんじを がんばりたいです	1年 O. Sさん
わたしは えをかくのがだいすきなので ずこうをがんばりたいです	1年 E. Mさん
わたしは うんどうかいで はしるのをがんばります	1年 N. Mさん

2学期にがんばりたいこと、1つ目は勉強についてです。ぼくは算数が苦手で文章問題などはよくまちがえます。でも、まちがいだとわかって「なんで?」と思うだけで、今までやり直しをしませんでした。これではいけないと思い、2学期からはまちがえた問題は計算をし直してわからないところも理解するようにしたいと思います。教科書の問題や計算ドリルもいやがらずにくり返し行って、少しでもできるところが増えるとうれしいです。

2つ目は生活についてです。給食を取りに行く時や学校に来られたお客様に会った時、えしゃくをすることが少なかったです。友達との話に夢中になり、周りをよく見ていなかったからだと思います。とても失礼なことです。これからは廊下を静かに歩き、先生やお客様にしっかりえしゃくをしたいと思います。

3つ目は運動についてです。2学期が始まるとまもなく運動会があります。ぼくは走るのが苦手なので、速く走れるようになりたいです。そうなるために、時間を見つけて近くの公園を走ったり、休み時間は走りの多いサッカーなどの運動をしたりして、走る力をつけたいと思います。バスケスポ少にも入っているので、練習時には走ることを意識して取り組みたいと思います。この3つの目標を達成できるように、精一杯がんばりたいと思います。 4年 H. Kさん

子どもの健康を支えるために ~スクリーンタイムと日常生活~

8月29日(木)、学校保健委員会を開催しました。子どもの健康を支えるために大人ができること、とりわけテレビやパソコン、スマートフォン、ゲーム機器に接する時間「スクリーンタイム」と日常生活に目を向け、「睡眠不足、視力低下、ゲーム・ネット依存」の課題解決、生活改善について、様々な視点から建設的な意見が出されました。



近年、私たちを取りまく環境は加速度的に変化し、大人も子どももスクリーンを見る機会が大幅に増えたのは間違いありません。それぞれの家庭で、または曜日等によって生活時間や生活空間、状況も都合も違います。一朝一夕に改善するほど簡単な課題でないことは明白です。

だからこそ、継続的に取り組むことが大切だという考えに至り、今後3年計画で取り組むことになりました。未来を担う子どもたちの健康的な生活習慣づくりのために、「親子で楽しく」「少しずつ」「やってみよう」をキーワードに、校医の専門的意見をいただきながら、家庭と学校が連携して具体的に進めていきたいと考えています。